



開催時間
10:30~12:00
(受付手続き 10:00)

第1回目 9/27(土)

第1回目 秋の歌

「秋」を題材とした唱歌や童謡の中から
「紅葉」や「夕焼小焼」など



過日「秋の歌」講座は終了いたしました。

第2回目 11/8(土)

第2回目 冬の歌

「冬」を題材とした唱歌や童謡の中から
「お正月」や「雪」など



申込締切日:11/2(日)まで

2026年 第3回目 3/24(火)

第3回目 春の歌

「春」を題材とした唱歌や童謡の中から
「春が来た」や「コイノボリ」など



申込締切日:3/16(月)まで

講師：須藤 宏志 (すどう ひろし)

(札幌国際大学人文学部心理学科子ども心理専攻教授。)

武蔵野音大、東京コンセルヴァトゥール尚美を卒業後、
欧州オーストリアに留学しディプロム取得。

この間にイタリアの Laura Abet 国際ピアノコンクール第
3位入賞。オーストリアや東京、道内で演奏活動のほか、
釧路市内2箇所の保育園の園歌を担当、子ども向けオペレ
ッタの挿入歌を多数作曲。2013年から本学教授。

参加対象：一般の方(高校生以上の方)

開講場所：本学教室 講座は対面形式です。

◆講座参加料：1回 1,000円 定員：20名

■講座へのお申込みとご連絡について

- ① 講座はどの回からの受講でも可能です。
- ② 定員が超過した場合は、厳選なる抽選により参加者を決定させていただきます。
参加募集締切り後、受講いただく方には、開催場所等をメールでお知らせいたします。
また抽選により参加できない方もメールで通知いたします。どうぞご了承ください。

◎受講には事前のお申込みが必要です。

次の URL、または QR コードへアクセスしてください。

<https://forms.office.com/r/hyPDSMgLqq>

お申込み締切は各回で締切日が異なります。



お問い合わせ先)

TEL 011-881-2410

札幌国際大学

生涯学習センター事務室

日本の唱歌と童謡について 秋・冬・春の歌を中心に



最近、地球温暖化によって世界中の気候に変化が生じ、日本も例外ではありません。
しかし日本には古来明確な四季があり、季語を伴う「俳句」という独自の文化も生まれました。
明治の学制公布以降、日本では学校唱歌が作られ、それと対抗するように多くの童謡も作曲されましたが、
どちらも日本の各季節の自然や文化、風物などを歌ったものがたくさんあります。
秋冬春の各季節を題材とした唱歌や童謡の中から、講師のセレクトによる曲を鑑賞し、その魅力、作詞者
や作曲者の紹介、作曲の背景などを解説して行きます。またそのうちの数曲を、参加される皆さんといっしょ
に歌ってみたいと考えています。
子どもの頃には意味をあまり理解できぬまま歌った歌でも、改めて今聴くと旋律や詞の持つ魅力の再発見
につながるかもしれません。